

# 紙手形・小切手

**2027年3月で利用廃止**

※取り扱いスケジュールは金融機関ごとに異なります。

長年、商取引の支払い手段として利用されてきた紙手形と小切手が、2026年度（2027年3月）をもつて廃止される。

◇26年1月から「下請法」は「取適法」へ

支払期日までに代金額を現金で受け取れる仕組みが義務付けられる。

- ▶最終振出期限の確認を
- ▶改正下請法は手形禁止

トバンキングの利用件数は年々増加している。金融機関は利用廃止日が正式に決定したことを受け、今後の取り扱いスケジュールを公表し始めている。

施行される。規制内容の追加と適用対象の拡大が実施され、法律にも「中小受託取引適正化法（取適法）」に変更となる。



稲作の低コスト化と省力化を実現する センターの「密苗」

規格や地域、品種に関係なく導入いただけます。実施した日本全国の生産者から喜びの声が届いています。

今後もヤンマーは「密苗」をはじめとする高い技術力で、生産者の皆様を支えてまいります。

**育苗箱数が最大  
1,500枚→1,500枚**

播種・苗運搬時間が最大  
195時間▶65時間

**育苗資材費**が最大  
145万円 ▶ 67万円 **1/2** 低コスト

※水稻30ha経営で、播種量を慣行100g/箱、密苗300g/箱として試算した場合。

ヤンマー農機株式会社 [www.yanmar.com](http://www.yanmar.com)

# 微増意向6県／主産地3県は減産意向

12月11日現在

2025年産主食用米は、作付面積が前年比10・8万ha増の136・7万haで、20年産以来最大となり、予想するふるい目幅ベースで前年比66万2000ha増の71・8万haで、17年以来最大となることが見込まれている。

25年産米は米価上昇や飼料用米への助成金減額など複数の要因により大幅な増産となつたが、米価の先行きには不透明感が強まつており、26年産米の作付面積をどうするか

こうした中、農林水産省が26年産主食用米の生産目安を25年産比2%減の71・1万haに決定したことを受け、各県で作付け目安の設定が始まった。12月11日までに発表された県の目安は次のとおり。

減の7万4177haと

が生産現場の焦点となっている。

△秋田県 減産意向

主食用米作付面積が全国3位の秋田県の生産量目安は25年産より4万9500ha少ない42万8000ha。作付面積は同比7023ha

減の7万4177haと

が生産現場の焦点となっている。

△山形県 減産意向

山形県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△長野県 微増意向

長野県の生産量目安は2994ha(前年比1・7%)増の18万2301ha。目安の引き上げは2年連続。目安を大きく上回る見通し

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△広島県 微増意向

広島県の生産量目安は25年産実績見込みより1万2178ha(1万2301ha)で、目安は1万2254haとした。

△鳥取県 微増意向

兵庫県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△長野県 微増意向

長野県の生産量目安は2994ha(前年比1・7%)増の18万2301ha。目安の引き上げは2年連続。目安を大きく上回る見通し

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△長野県 微増意向

長野県の生産量目安は2994ha(前年比1・7%)増の18万2301ha。目安の引き上げは2年連続。目安を大きく上回る見通し

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△長野県 微増意向

長野県の生産量目安は2994ha(前年比1・7%)増の18万2301ha。目安の引き上げは2年連続。目安を大きく上回る見通し

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△長野県 微増意向

長野県の生産量目安は2994ha(前年比1・7%)増の18万2301ha。目安の引き上げは2年連続。目安を大きく上回る見通し

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△長野県 微増意向

長野県の生産量目安は2994ha(前年比1・7%)増の18万2301ha。目安の引き上げは2年連続。目安を大きく上回る見通し

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△長野県 微増意向

長野県の生産量目安は2994ha(前年比1・7%)増の18万2301ha。目安の引き上げは2年連続。目安を大きく上回る見通し

△新潟県 減産意向

米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比1561ha減の5万5539haとした。

△滋賀県 微増意向

滋賀県の生産量目安は15万3000ha。作付面積は同比7023ha減の5万5539haとした。

△兵庫県 微増意向

兵庫県の生産量目安は25年産実績見込みより2347ha(1・6%)増の812ha面積は同比812ha増の3万242haとした。

△鳥取県 微増意向

鳥取県の生産量目安は米価上昇などを踏まえ、県全体の目標は25年産実績見込みより1万500ha。温暖化などの気候変動に打ち勝つコメ作りに力を入れるとして、「富士富」「てんかく」など高温耐性品種の作付け割合を30%以上に拡大する。

△新潟県 減産意向

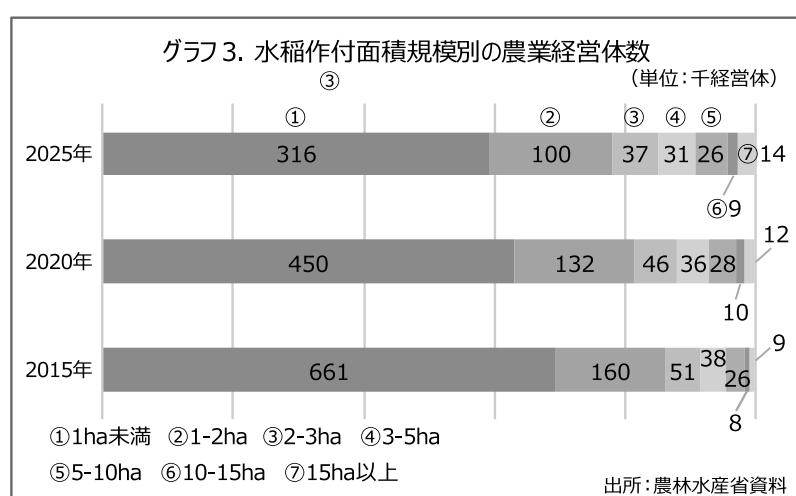
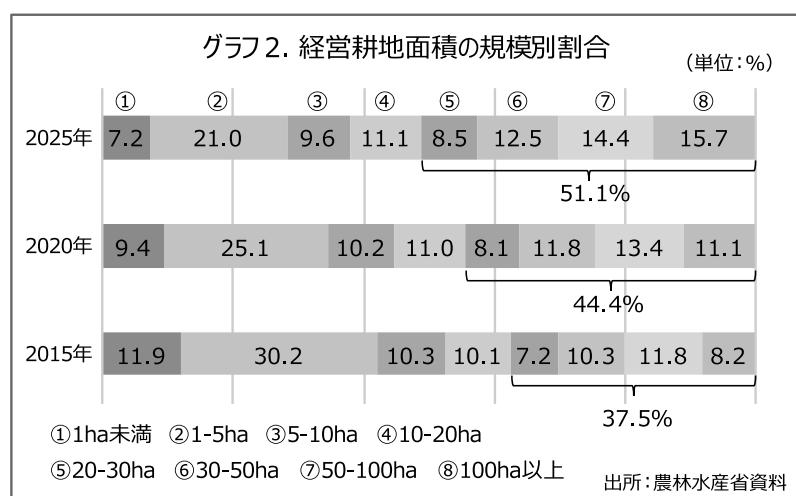
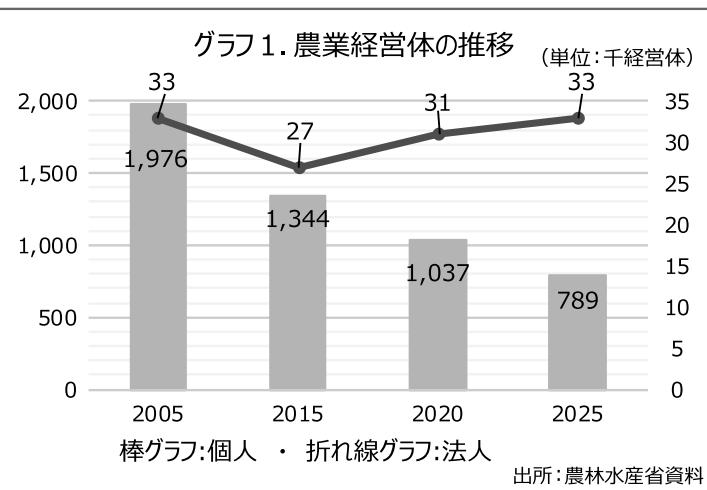
米のトップ産地である新潟県の生産量目安は25年産実績見込みより1万4600ha少ない33万4900ha。作付面積は同比15

**農業経営体数10年で4割減少**

25年農林業センサス

▼1 経営体当たりの規模拡大は継続  
▼高齢化による離農が急激に進行

農林水産省は11月28日、2022年農林業センサス（25年2月1日現在）を公表した。同調査は1950年から5年ごとに実施しているが、今回の調査では農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大が進展し、1経営体当たりの経営規模の拡大が継続していることがわかつた。



と0・1ポイント減少した。これにより、平均年齢も5年前から6歳となつた。平均年齢が低下するのは初めて。だが、他の年齢層もすべて減少しており、5年後・10年後の農業従事者数の大幅な減少が避けられないとも見て取れる。

高齢層で離農が進んだ原因としては、近年の資材価格高騰や夏の酷暑などが影響した可能性がある。また、企業の雇用期間が伸びてゐるため、定年帰農が減少してゐることも一因と考えられる。

農業経営体数は82万	農業経営体数全体は、15年農林業センサスでは137万7000	△法人経営体は200
年前から24万7000減	は、13%増	0増
経営体 (23・0%) 減少した。このうち、個人経営体は78万9000	個人経営体が高齢化による離農で減少傾向に歯止めが掛からない一方で、法人化は進展している。	個人経営体の割合は5年連続で4.0%増加し、84・0%となつた。
0経営体で、5年前比で24万8000減経営体 (23・9%) 減、10年前比では55万1000減	団体経営体は3万9000経営体減少し、減少率23・0%は前回調査より高くなつた。	△経営耕地面積は0・6ha増加
と大きく減少した。	000経営体となり10000経営体 (2・9)	1農業経営体当たりの経営耕地面積は3・7haで5年前に比べて
(%)	000経営体 (2・9)	0・6ha増加
1	000経営体 (2・9)	1農業経営体当たりの経営耕地面積は3・7haで5年前に比べて
2	000経営体 (2・9)	0・6ha増加
省資料	000経営体 (2・9)	1農業経営体当たりの経営耕地面積は3・7haで5年前に比べて

府県別に見ると、都道府県は2・6ヶで5年前に比べて18・2%増加、北海道は34・5ヶで同14・2%増加した。	また、規模階層別の農業経営体数を見ると、北海道は5年前に比べて増加した	水稻作付面積規格別の農業経営体数	水稻作付農家の経営体数は53万3000経営体で、5年前比で18万1000経営体25・3%減、10年前比で41万9000経営体(44・0%)減だった。	水稻作付面積規格別が、減少数全体に占める65歳以上の減少割合が69・9%と5年前の年齢構成割合が48・5%から大きくなり加した。この結果、上昇傾向にあった65歳以上の構成割合が初めて減少に転じ、5年前の69・6%から69・5%
北海道は34・5ヶで同14・2%増加した。	北海道は34・5ヶで同14・2%増加した。	水稻作付農家の経営体数は53万3000経営体で、5年前比で18万1000経営体25・3%減、10年前比で41万9000経営体(44・0%)減だった。	水稻作付面積規格別が、減少数全体に占める65歳以上の減少割合が69・9%と5年前の年齢構成割合が48・5%から大きくなり加した。この結果、上昇傾向にあった65歳以上の構成割合が初めて減少に転じ、5年前の69・6%から69・5%	水稻作付農家の経営体数は53万3000経営体で、5年前比で18万1000経営体25・3%減、10年前比で41万9000経営体(44・0%)減だった。

農林業センサス

のは100ha以上層のみで7・7%増加。都府県は10~20ha以上の層がすべて増加し、規模が拡大している。

▽20ha以上が初めて5割超え

経営耕地面積を規模別に見ると、20ha以上が51・1%となり、面積全体に占める割合が今回初めて5割を超えた。なお、10年前は37・5%、5年前は44・3%だった。

▽高齢層の離農増加・平均年齢下がる

個人経営体の基幹的農業従事者（自営農業）は102万1,000人で、5年前比で34万2,000人（25.1%）減少した。

年齢階層別に見ると、すべての階層が5

0・6ha増加した。20年調査でも15年調査比で0・6ha増加しており、規模拡大が継続している。3・7haのうち借入耕地面積は1・7haで、5年前に比べて0・5ha増加。農水省は借り入れによる農地の集積が進んでいるとしている。

1農業経営体当たり



# ISEKI FM series

**FM468 (4条糸68PS)  
FM475 (4条糸74.8PS)  
FM575 (5条糸74.8PS)**

## 求めたものは次世代の 居住性 操作性 メンテナンス性



# 業界ジャーナリストはこう見る

# 業界を取り巻く環境は…

# 2026年 展望と課題

米価高止まりで広がる波紋、目が離せぬ農政動向、主食用米への生産シフト、変わるべき象条件…2026年はどうなる

近年になく「米」が注目された年でした。「古古古米」が新語・流行語大賞に選ばれるなど、農業問題にとどまらず、米価高騰が社会問題となりました。

米の値上がりが始まった令和6年は、生産資材費の高騰などを背景に、「農産物の適正価格」についての議論が活発になってきた頃でもありました。米に関しても「高すぎると」「今までが安すぎた」と、さまざまな意見が飛び交いました。

米の適正価格がいくらかはさておき、米価の上昇は、農家所得を向上させ、當農意欲を沸かせ、それが農機需要の増大につながりました。



株式会社 農経新報社  
代表取締役社長 本多

# 「ますます求められる 米の低成本生産技術」

我が国農業の状況を見ますと、高齢化等による離農、人手不足、生産資材費の高騰など、抜本的には厳しい状況は変わらず、中長期的な展望を持った構造改革が引き続き求められているところです。

労働力不足をカバーする技術として、スマート農業の普及が進んでいますが、農業者の高齢化・減少が進む中においても農業の持続的な発展を図るため、スマート農業技術の現場導入と生産・流通・販売方式の転換、これを支える仕組みと

米価の高騰に伴い、米の低コスト生産技術への期待も高まっています。ドローンの利用も含めた乾田直播栽培や、肥料、農薬を最適・最小限に散布するためのセンシング技術、散布技術など、スマート技術をはじめとした様々な技術が注目されています。

から、農業機械への投資意欲は「これまでにないほど高まっている」（収穫機部会）と、各部会長が分析しているように、米価の上昇が農家の購買意欲に与えた影響は大きかつたといえます。好況に沸いた令和7年の農機市場ではありますが、我が国農業の状況を見ます

さらに、農業サービスに関する、今年のエポックメイキングな出来事としては、9月に「農林水産航空・農業支援サービス協会」(農サ協)の発足があり、推進体制の整備も進み、サービス事業体の育成や活動の促進等の取り組みが加速しています。

105%が前年増と、好調に推移する見通しなっています。

農林水産省は、ドローンの作業受託やスマート農機のシェアリングなどを行う農業支援サービス事業の普及拡大を図るため、「スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業」を強化しています。同事業により、特に地域のニーズ調査やドローン、スマート農機等の現場でのデモ実演、機械オペレーターの育成、サービスの品質確保に向けた「標準サービス」の策定などを推進していく方針で、令和7年度補正予算では157億円を措置しました。

株式会社 新農林社  
社長 岸田 義典



# 高齢化による急激な労働力の減少を背景に期待される農業機械

最近の米価の値上がりは非常に著しい。米価が上がったことによって、水田農家の農業機械の購買意欲は増大している。しかし、あまり上がりすぎると、米の需要が逆に抑えられるのではないかと心配している。とにかく今年は、去年から米価が上がり、それに伴って水田農家が元気になり、農業機械を意欲的に購入し始めた年である。

令和7年の日農工の地方大会が開かれたが、そこでが発表された。まず、日農工の農機の生産出荷実績であるが、1月から9月まで生産は4・2%伸びて

3100万と去年に比べて14・1%伸びている。コンバインも金額ベースで73億円ベースでは、もみすり機は1

4・2%と落ちている。金額ベースでは、263億円が14・1%伸びている。コンバインも金額ベースで73億円ベースでは、もみすり機は1

3・8%の伸びとなつた。主要機種ではもみすり機が121%、乾燥機が119・5%と一割近く台数ベースで伸びている。金額ベースでは、もみすり機は1

29・3%、乾燥機も127・1%と大きく伸びている。やはりお米の値段が上がっているのが大きく影響していると思われる。米価も引き続き高止まりしているので、今年中は農機は伸びるものと思われる。

令和8年、来年の見通しであるが、機種別に言うと

トラクタ部会では来年の国内は今年の99%横ばい弱

と見ている。管理機部会は、来年は約98%と若干の

落ち込みになると報告され

ている。田植機は、今年は昨年に比べて20%伸びるも

のと予測されていたが、来年は逆に94%と6%落ちる

と予測されている。コンバインは、今年は108%と伸びるものと予測されていて

いたが来年は90%と台数ベースで落ちると予測されてい

る。防除機部会は、全体では今年は103%と3%伸びるものと予測されていた

が、来年は109%と一割弱伸びるものと予測されて

いる。トータルでは112・6%

である。主要機では、田植機が117・8%と伸びて

いる。

出荷実績であるが、輸出、国内合わせて3148億円と去年に比べて4・1%伸びた。国内向けは2069億9200万円と昨年3000万円と去年に比べて300万円と去年に比べて85・8%で落ちている。主力のトラクタの出荷は金額ベースで1543億1400万円と昨年に比べ5%落ちている。

主要機種で大きく伸びているのは田植機である。田植機は数量ベースで1078億1万円と大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれており、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれおり、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

とが見込まれおり、先ごろ行われたコメ集荷業者のアンケート(D-I値)でも、これから(早ければ来春)も大幅に積み上がるこ

# 「新しい機械化を」

株式会社 国際農業社  
代表取締役社長 金子貞紀子



皆様には本年も何かとご指導ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。今年を振り返ると4月には改正食料・農業・農村基本計画が閣議決定され、25年ぶりに新たな基本法のもと「新時代の農政」が動き始めました。今回の基本計画で大きなポイントが「食料安全保障の強化」を柱と定めたことですが、主食用米が店頭から消え、米価の高騰は続き、今年10月の相対取引価格は3万7058円で過去最高を更新しました。政府は、価格抑制を目的に備蓄用米を放出。今年の新語・流行語大賞に「古吉米」がトップテン入り、「古吉米」がトップテン入りするなど米騒動は続き、食料安全保障が簡単ではないことを世間に示し、改めて農業の安定生産の大切さを痛感させました。一方で、農機業界にとりましては、主食用米の価格高騰により、農家の購買意欲が高まり、大幅な増販となりました。

来年の景気については、生産基盤の強化を図るために、計画策定後約5年間で農業構造の転換を図ることとしており、スマート農業技術の普及やそれに

あわせた基盤の整備などを集中的に行っていくことと決まります。先ごろ閣議決定された令和7年度補正予算でも担い手の経営改善に必要な農業機械・施設の導入支援などが盛り込まれております。現に向け今後も益々取組が強化されていくと見られます。

ところで、私がその他農業の大きな懸念材料だと思っているのは高温対策とクマ対策です。農作業者の身を守ること、そして作物を守ることです。作物の高温対策では土づくりや施肥などの基本技術の励行に加え、植物活性に働きかけるバイオスティミュラントなど新たな技術にも注目していくべきでしょう。農業者の処熱対策も優れたものを探し提案してほしいと思います。また、クマ対策。これは人間の睿智で何とかならないものかと思いきます。このままでは安心して農作業に出られません。秀でた頭脳を持つ、行政関係者、技術者の方に期待が高まります。

農機販売の皆様には、「続けられる農業」のサポートを期待します。20年後、夢をもつて農業に取り組む若い手を様々な選択肢の提供で支援し、より多くの農業従事者、裾野の広い農業を残してもらいたいと思います。

来年が、皆様にとって、明るい年になりますよう、願っております。

# 「米価が落ち着いた先に何をすべきか」

者)は、今後も人口減の傾向で推移し、20年後には4分の1の約36万人にまで減少する)ことが見込まれています。こうした状況下、基

本計画では生産性の向上、生産基盤の強化を図っています。先ごろ閣議決定され

た担い手(基幹的農業従事者)は、今後も人口減の傾向で推移し、20年後には4

分の1の約36万人にまで減少する)ことが見込まれています。こうした状況下、基

本計画では生産性の向上、生産基盤の強化を図っています。先ごろ閣議決定され

た担い手(基幹的農業従事者)は、今後も人口減の傾向で推移し、20年後には4

## 購買情報

## ヤマト自動車

2025 ヤマト 11・12月 YAMATO の推し!

ロアアームの押下げ・保持を1人で安全に!

KTC



AS901  
ロアアームレンチ

専用設計で  
1人作業が可能に



専用チューブでロアアームへの  
傷付き防止

作業箇所に合わせ  
付け替え可能

ウレタン素材で、アルミ製  
ロアアームでも傷が付きにくく  
滑りにくい。

121mm

先端のボルトは脱着可能。  
作業箇所に合わせ、左右の  
付け替えが可能。

ロアアーム押げ部長さ: 121mm  
材質: 鉄(メイン) / ゴム(グリップ) / ウレタン(チューブ)  
サイズ: W53×D147×H42mm  
質量: 1,350g

- ハンドル一体型で、ロアアームに掛けるだけで作業可能。
- さまざまな車種に対応する全長と、力が掛けやすく保持しやすいハンドル角度で、1人で安全にロアアームの押下げ作業が可能。

### 電源コード不要! 新時代の静電気除去ガン

VESSEL

エアー吐出力  
最大クラス!



高いエアー吐出力(打力)で  
一気に除電・除塵!!

G-5  
ニューパワーイオンガン



ネジ径: Rc1/4  
使用エアー圧は  
調整可能 (0.2~0.7MPa) で  
電子機器や装置などの  
除電・除塵に幅広く対応  
工具の除電・除塵  
自動車塗装

ケーブル断線の心配がない  
静電気除去エアーガンのトラブルNo.1「配線故障」から解放

別置きの高圧電源が不要  
コンセントも長く伸びた専用ケーブルももう要らない!

エアーホースだけで足元すっきり  
広く歩き回る作業で、引っかからず安心!

#### 発電機内蔵で充電不要、 エアー接続ですぐに使える

- 発電式のため、安定性の高い除電性能を実現。
- 実作業を意識したノズル方向で作業も快適。
- 作業箇所を照射するLED照明付き。
- イオン発生部は、カバードノズルを外せば  
掃除しやすい一本針電極でメンテナンスが容易。

種別: 高電圧印加式除電器 高圧電源: 卷線トランジスト  
イオン発生方式: 交流コロナ放電式  
印加電圧/周波数: AC8kVp-p / 32kHz  
エアー接続: 外径φ8mmチューブ適応・ワンタッチ接続  
除電時間: ±1,000V→±100V・1秒以下 (0.5MPa、距離150mm)  
サイズ: W139×D51×H164mm 質量: 約365g

### 独自の「対面アーチ+菱形デザイン」採用

Seednew.



S-HLP7 / S-HLP10  
ホールドロッキングプライヤー



#### 新機構のロッキングプライヤー

- くわえ部は摩耗に強いクロムバナジウム鋼、  
ハンドル部は衝撃に強いクロムモリブデン鋼を採用。  
長寿命と高耐久を両立。
- くわえ部は先端側を対面アーチ状にした独自の  
菱形デザインにより、丸パイプは太さに関わらず  
4点支持で牢牢くくわえ込み、力が抜けず。  
安定した作業が可能。
- 用途に合わせて選べる2サイズ展開。

### シンプル設定で使いやすさを追求

Seednew.



S-DTR12200  
12.7sq デジタルトルクレンチ

#### コストパフォーマンスの良い高性能トルクレンチ

- 複雑な操作は不要。上下ボタンでトルク値を設定する  
だけで、すぐに使用可能。
- 最後に設定したトルク値は電源OFF後も保持。
- 締付ける最大トルク値を表示し続けるピークモード、  
トルク値をリアルタイムで表示するトラックモードを搭載。
- コンパクト・軽量設計でタイヤ交換以外でも活躍。
- ISO基準をクリアする±2%の測定精度。  
(シリアルナンバー入り精度適合証明書付き)
- 3分間操作が無いと自動で電源OFF。  
※使用電池: アルカリ単4電池×2本

### EV / ハイブリッド車専用に最適化

DIXCEL

ADVANCED BRAKE TECHNOLOGY

BF510EH-01

5.1 EHV 1L

#### 次世代高性能ブレーキフルード

- 低電気伝導率 (0.49 μS/cm) を実現し、ブレーキ周辺に  
電流が流れる車両でも安心。
- 優れた潤滑性と温度安定性で電子制御ブレーキ  
(ABS / EBD / ESC)との相性も良好。



適度な反発力で自力で直立!

JTC

奥まった場所での  
イライラ防止に

JTC7330J

JTC7328J

JTC7329J

JTC7330J

JTC7328J

JTC7329J

JTC7330J

ソケットを装着しても倒れにくい

従来タイプ (JTC379A, JTC3730, JTC3721)

JTC7330S ユニバーサルジョイント

奥まった所ではソケット部が  
直立せず曲がりイライラ…

スプリングの力によりソケット部は  
ストレートにキープされ、奥まった  
所でもアクセスが容易!

プラグ交換も  
曲がりが少なくて作業しやすい

変形防止のスプリングを内蔵

●JTC7328J / JTC7329J / JTC7330Jの3点セット。



### 目視確認だけでナットの緩みを判定

Moven

NIFCO

ナットの緩みが一目瞭然

引き締まつ  
BLACK

ホイールに  
馴染む  
デザイン

WN133 (2個入)  
WaOsafe ホイールナットインジケーター

適合ナットサイズ: 幅径33mm  
融解温度: 105°C 材質: ポリエチレン  
サイズ: (A) 41.3mm  
(B) 52.6mm  
(C) 20mm

●引締まつ BLACK  
●ホイールに馴染む  
デザイン  
●WN133 (2個入)  
●WaOsafe ホイールナットインジケーター

●引締まつ BLACK  
●ホイールに馴染む  
デザイン  
●WN133 (2個入)  
●WaOsafe ホイールナットインジケーター</

## 購買情報

## ケービーエル



カップリングツール「カブピロ」シリーズ  
シリーズ累計1万本以上販売!  
指に負担なくラクラク  
固着したカプラーも  
破損させない!

**POINT**

- ✓ 万能なストレートタイプ
- ✓ 一般的なコネクター・カプラー外し
- ✓ 初心者～上級DIYユーザー
- ✓ プロ整備士

WADRI  
Warranty Support  
無期限 製品保証

amazonベストセラー獲得!  
2024/8/1 DIY工具 ガーデン 作業工具 部門  
2024/8/3 DIY工具 ガーデン ブライヤー 部門

実用新案登録  
第3248806号  
意匠権申請済

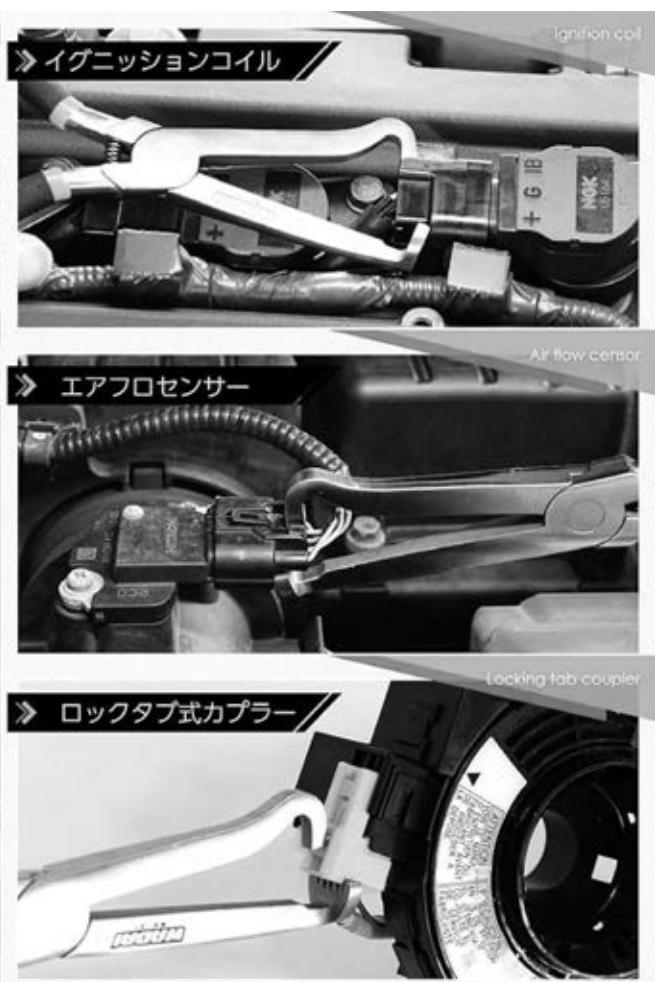
**カブピロ**  
スタンダード

カップリングツール「カブピロ」シリーズ

**Point 1 破損を防ぐ!**  
円型の溝  
先端の円型加工により  
カプラー破損を軽減し  
しっかり挟める

**Point 2 扱いやすい!**  
互い違いの先端  
先端の長さ・形状は、  
カプラーに適した互い  
違いの先端加工

**Point 3 初心者も使える万能ストレートタイプ**  
ヘッド部は  
約90mm  
ストレート形状は強い力がいらない構造。  
強く固着したカプラーもスムーズに引き外せる



Coupling Tool  
**カブピロ**  
series

カブピロシリーズは、  
現場ユーザーのお声やニーズに  
応えるべく各モデルに明確な役割と用途を  
設定しプロ・DIYユーザー問わず、最適な選  
択肢をご提供できる構成で展開しています。  
セット使いで作業効率さらにアップ!!

〈ラインナップは4種類〉

・カブピロスタンダード ヘッド部90mm 最大開口部45mm 全長211mm 重量191g	・カブピロmini ヘッド部50mm 最大開口部35mm 全長140mm 重量68g
・カブピロ90° ヘッド部68mm 最大開口部35mm 全長165mm 重量191g	・カブピロ65° ヘッド部68mm 最大開口部40mm 全長185mm 重量191g

# 「でんさい・インターネットバンキング活用術講習会」



## 講習会の様子

群馬県農業機械商業協同組合（木村英男理事長）は11月18日、県中小企業団体中央会の協力を得て、経営コンサルタントの堀江康彦氏を講師に招き、「インターネットのバンキング活用術」講習会を開催した。



木村英男理事長

木村英男理事長

# 電子決済に対する 不安解消の一助に 群馬商組が開催

は窓口での振込支払  
にすれば良いと思  
いる組員の方もい

えないので得られるメリットは主に3点。  
①事務の効率化（負担軽減）  
従来から使われている  
手形と大切  
手は、現物管理、手書き、押印、印紙貼付、  
発送と手間が多い。電子決済によることで、

続く中、電子決済は事務の効率化やコスト削減などの課題解決にもつながり得る。

**For Earth, For Life**  
**Kubota**



クボタが主催するこれから農業経営のヒントが見つかるオンラインイベント

# GROUNDBREAKERS

2026.1.16(金)13:00~

参加費無料

【主催】株式会社 クボタ

農業経営のヒントを見つける仲間と共に成長できる場へ

**GROUNDBREAKERS**は進化します

**GROUNDBREAKERS2026は進化します。**  
**GROUNDBREAKERS2026は、農業経営のヒントが見つかるオンラインイベントと**  
**起業家精神に満ちた優れた農業経営者を称えるアワードをお届けします。**

参加申し込みは二次元コード、もしくは  
“タガタウンティエンイベント”で検索！

